

基本計画決定に抗議する。派兵をSTOPさせよう!

自衛隊を戦場に送るな

政府は9日、自衛隊をイラクに派兵する基本計画を決定しました。しかし、イラク国民が望んでいるのは、米軍占領支援のための自衛隊派兵ではありません。イラクの主権回復、国連主導のものと復興・人道支援こそすすめるべきです。

人道支援に役立たない派兵

中東で人道支援をすすめる日本のNGOは「日の丸」をはずしました。自衛隊が米軍を支援するため、日本のNGOも誤解されて危険なためです。日本政府のイラク戦争支持や自衛隊派兵表明は、すでに人道支援の障害になっているのです。「私たちは外国軍のイラク占領を終わらせたいのに、自衛隊が新たな部隊を派遣するとは、驚きだ」(アラブ連盟のムーサ事務局長)というのが、アラブ世界の声です。

大義なき戦争と占領がテロを拡散させている

小泉首相は「テロの脅しに屈するな」といって、自衛隊の派兵を強行しようとしています。とんでもありません。無法な戦争と軍事占領こそ、テロ勢力に絶好の口実を与えているのです。無法な戦争とテロの悪循環を断ち切らなければなりません。



国民多数が反対しているのに
派兵するのでしょうか

自衛隊イラク派兵に反対が72.6%(フジテレビ調査)。日弁連会長や日本ペンクラブも反対を表明しています。国民が反対しているのに、「軍隊」を海外に派兵する - 平和憲法を持つ国でこんな無茶苦茶なことは、許せません。

イラク民主化指導者も 自衛隊派兵に反対”

来日し、小泉首相とも会談したイラク民主化指導者リカービ氏は5日、会見で「あらゆる外国軍隊の派遣、駐留、占領は受け入れられない。自衛隊派兵にも反対する」と語りました。

外交官の人の犠牲をくりかえすな!
自衛隊派兵はイラク復興に役立たない!

--	--